

『温故知新 IIN 30年記念行事』を終えて

姉妹都市活動室委員長 中村通子 副委員長 阪上美千子、野坂和佳子

師走の声を聞き、今回の IIN の記念行事が終わってからもう二週間が過ぎてしまったのかと不思議な思いで受け止めています。そして今、記念行事を振り返ればあつという間の一週間だったようにも感じられますが、一日一日、一つ一つの行事を思い起こしますと溢れんばかりの行事内容の充実とそれを無事にやり遂げることができたということへの感謝でいっぱいです。

まずは、この行事の主催をして頂いた茨木市国際親善都市協会に最大の感謝の意を表したいと思います。物心両面でのサポートに深謝するとともに、今後の協会活動に我々も一層貢献しなければと思いを新たに致しました。また、事務局の皆さまにも全面的な御協力を頂き、感謝に堪えません。

一方、当行事の主幹という立場で実働部隊として動いていただきました IIN の皆さまの誰一人欠けても、今ある成功に導くことはできなかったと思います。特におよそ一年をかけて今回の準備に携わった準備委員の皆さま、全面バックアップ体制で構えて下さった運営委員の皆さま、持久戦あり短期決戦ありのあらゆる事態に見事に対応して頂きました。本当にお疲れさまでした。また行事の各担当となりその準備と当日に活躍されました分科会のチームリーダーと皆さま、ありがとうございました。とても安心してお任せできました。Home stay をお引き受けいただきました4家庭の皆さまの毎日の大変さは想像に難くありません。その後、お疲れは出ませんでしたでしょうか？ありがとうございました。そして、陰ながら膨大なエネルギーを割いての貢献をしてくださいました多くの会員の皆様、心より御礼申し上げます。この大きな行事を皆様と為し得た自信と成成感、必ず今後の活動の源となり更なる IIN の発展へと繋がって行くことでしょう。

いみじくも『温故知新』というキーワードは、今回様々な場面で得ることができました訪問団の皆さまとの友情や信頼を今後のミネアポリス市と茨木市のより深い堅固な関係へと発展するために、我々に課せられた命題なのかもしれません。二週間前の過去となりました今回の行事をこれからの未来に活かしていくことができますようにと願い、そして何より、皆様とミネアポリス市訪問団の方々との温かい友情がどうぞ大切に育まれますようにとお祈りいたします。

今後とも、IIN の活動に御理解とご協力をよろしくお願いいたします。

平成24年12月1日



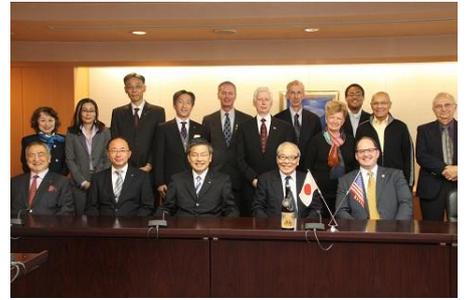
『温故知新 IIN30年記念行事』こぼれ話いろいろ(番外編)

11月8日に訪問団の御一行がエキスポホテルに到着されてから11月15日にお別れするまで、いろんなハプニングが満載！IIN 30年記念行事の期間中のこぼれ話をいくつかご紹介しましょう。



11月8日：大学生の帕特君と連絡がつかない！受け入れ家庭のYさん宅に到着できたのはかなり夜おそかったとか。既に日本に来ていた彼は、単独行動で東京の浅草など立ち寄ってから茨木に。携帯電話がいつでもどこでも通じるとは限りませんね。随分と焦ったでしょうと心配するのはおばさんの私だけ？9日の朝に彼をお迎えに行き、息子と同じ年の笑顔満点の彼から聞いたこぼれ話でした。ついでにもう一つ、彼には45歳のお兄さんがいるのですよ！

11月9日：市長表敬訪問・Welcome party・市内散策・MISCA 会長到着
今回の最初の行事が、市長表敬訪問でした。早朝よりの準備だったと思われ
ますが、訪問団の皆さんのお顔は思ったよりもお疲れではありませんでした。
むしろ期待に満ちた表情でしたね。通訳の O さんと旧知の方々がたくさん
いらしたようで、訪問団の方もほっとされたのではないのでしょうか。



Welcome party の準備にと、早目に会場に回ったのですが、難題が待っていました。大きな壺と沢山のお花の数々。
余りの分量のお花なのでお聞きすると、パーティーのリーダー W さんが会員の S さんのお宅まで早朝頂きに行った



とか。えっ！これだけのお花がお庭に咲いていたの？広大なお庭に素晴らしくお
手入れが行き届いたお花畑があるのでしょよね。IIN の皆さまのお宅は凄い。と
ころで何が難題かといえば、私にはこんなに大きな壺にお花を活ける技量がない
こと。時間は迫るし、お花はどれだけ入れても倒れるし……。上手に活けるこ
とができなくて、S さん本当にごめんなさい。でも、何気ない小道具にもお金を
かけずに会を盛り上げようとする主婦の工夫と協力があることを知りました。裏
方のこぼれ話でした。

11月10日：OUTING

IINの恒例行事で行うOUTING。今年は嬉しいことに30年記念行事の一環と
して行うことになり、数年前に行った古都奈良散策のバージョンアップでハイライト
は大仏様、そして近年人気スポットの奈良町散策に決定。当日の朝、絶好の行楽日和
に恵まれたことがわかった途端にほぼ成功！とお気楽な性格。大阪ー奈良往復の大和
路快速が座れますように。皆さん笑顔で一日過ごせますようにと思いながら集合場所
へ向かいました。参加人数が多くても、我がIINのメンバーはホスピタリティー＋
連携体制よろしくゲストを交えて素敵な交流の一日になること間違いなし！早朝か
らお喋りして歩いて～となると、お腹ぺこぺこになりますよね。Wさんと私は50数
名の胃袋を預かる担当者として、下見にてメニューを決めて予約。行楽シーズンにお
店が確保できてよかった～と安心したのですが、その後頓珍漢なやり取りがお店のご
主人と……。



予約確認を入れた電話の向こうから、「え～IINさん？入ってませんわ」「??？」
おもてなしのコーヒー頂いてご主人とお喋りもして予約したIINですが……」「え～あ～う～ん、11時20分
からで何とかしますわ。」「……」一時はちびまる子ちゃん状態に。次はOUTING2日前「Sさん、Mです。
明日の人数の確認なんですけど～。」「えっ？ご主人、何うのは明後日ですよ！」「え～ああ、そうでしたか～！」「……
(ほか弁の算段しておくべきかしらん?)」そして当日、携帯の着信にMさんの名前。今度は！？「Sさん、Mです。
20分到着でよろしくお願ひします。今から天ぷら揚げ始めますので。」皆さんをちょっと急かせながら定刻に到着。
熱々の天ぷらに栗ご飯、品数もたっぷり、美味しかったわ！ゲストの皆さまからもお声が聞けてほんと～にホッ～
としたランチタイムができました。昼食後は大仏様拝顔へ。すると携帯が「Sさん、Mです。どなたかピアス落と
してませんか？」ご主人走って届けてくださり、ありがとう！ミネアポリスまでお届けせずすみません。その後
二月堂を抜けて浮見堂、そして奈良町散策フリータイム。結構のグループが利酒コーナーでホっこりしていたよう
な。確言う私達もトライ。次々注がれる美酒をお猪口でくいつ。あんなに短時間で何杯だったか……えっ、そこ
まで飲まなくていいのに……ですよね。すっかりいい気分になり、あとはチームリーダーさんよろしくね！皆さ
ん、お気をつけてお帰りを～ってお役目御免させて頂き、後発隊での茨木帰還。それもこれも、色々ハプニングが
ありましたが、Mのご主人も含め皆さんと楽しい時間を共にできたからでした。ですよね！？

11月11日：日本文化紹介【書道・着付・花札・お茶】・MISCA との話し合い

京都観光

(ここで IIN が誇る着物着付けグループからの裏話です。)

ワークショップ着物着付けの感想を下記します。

とにかく事前の準備を4.5畳の狭い所で着物を広げ着物・帯等のセット作りと振袖のモデルさんの着替えとデモの練習をしましたので混乱状態……

書道と花札の最中に少しずつ着付けを始められ、デモの前にほとんどゲストの皆様に着物を着せ終わっていたので時間どおりデモも行えました。Tさんの流暢な解説付きで予定どおり終了出来てほっとしました。Hさん始めお手伝いの皆様のご協力にも感謝です。皆様に喜んで頂け苦労した甲斐がありました。

下へ降りて写真でも撮られるかとぞうりを用意しましたが雨でしたので用意して頂いたぞうりは不要でした。今回足袋も履いて頂きました。場所だけもう少し広い所が次回からは必要と思います。

JICA の時は着物一式備え付けでしたので体だけ参加すれば済みましたが、色んな人に預かって頂いている着物類一式を当日集め私も終わった後、とにかく衣装ケースに詰め込んで持ち帰った着物の後片付けも時間がかかりましたが……、雨の中着物一式の持ち込みですごい荷物でしたが、Kさんに送迎して頂け助かりました。

やり終えた充実感で満足しました。皆様に喜ばれ人様のお役に立つことが出来て幸せを感じました。

こういうイベントが IIN のメンバーの皆様が力を合わせ成功裏に行なえ素晴らしいです！！



IIN の団結力の強さに感動しました。 Y.N 記



運営委員と MISCA との話し合いを持つことになり、市民会館のレストランに集合。MISCA 会長、元会長と M&W さんたち4人を囲んで、短い時間ではありましたが今後のことを話し合えたのは有意義でした。もっと茨木から訪問してくれると嬉しいと言われてたり、若い人材確保の難しさという団体として抱える問題が同じであったり。共通理解を深めることができた点も大きな収穫でしたが、私には MISCA の会長さんのお顔とお名前が初めて一致し

て安心することができました。今頃、すみません！

一方、京都行かれた5人の皆さんも十分に楽しまれました。

11月12日：home stay 家族との一日・MISCA 会長帰国

皆さんお気づきでしょうか、実は MISCA 会長カールさんの御滞在は、11月9日夜到着～12日午後帰国という強行スケジュールだったのです。高校の数学の先生をされているということでお仕事の御都合がつかなかったようです。でも、IIN のこの行事のためだけにこの強行日程を実行して下さった会長さんの責任感の強さと熱い思いに、感謝の一言ですね。しずか～なカールさんでしたが、実はかなり熱いハートの方なのかも？

11月13日：大門寺&美人の湯

訪問団の皆さんの夜のスケジュールもかなりお忙しかったようです。Home stay 家庭以外の会員のお宅でのお呼ばれがあったり、お寿司屋さんに行ったり、焼鳥屋さんに行ったり。この日、パト君は焼鳥?! いつもの笑い声で大盛り上がりだったかな？



11月14日：歓送会

最後の行事です。バタバタしている間に、私が連絡ミスをしてしまいました。いつでも優しいYさんにエキスポホテルのお迎えが要らなくなったことを伝え忘れていました。目の前にいるYさんが「じゃあ行ってくるね。」と言っている意味が分からず、いってらっしゃ〜いと歓送会のセントラルホテルから見送ってしまいました！当然エキスポホテルには誰もいないので、彼女から電話がかかってきました。「ここに誰もいないんだけど…」ハッと気づいてからは、平身低頭で謝りました。彼女はいつもの穏やかさのままで許してくれました。ごめんなさい！は〜、一体自分の頭はどうなっていたのか、今考えると不思議でしかありません。

自分のうっかりを棚に上げて申しにくいことですが、この多忙の一週間、いろんな場面できつといくつもの行き違いやミスや誤解が生じていたのではないのでしょうか。そして、その後で許しあったり、慰め合ったり、笑い飛ばしたりして、いい笑顔が生まれたのではないのでしょうか。たくさん的人数で大きな仕事を成し遂げる時、みんなで苦勞を分け合い、失敗をカバーしながら、仲間意識が強烈に湧いてきませんか。「戦友」とでもいいくなる仲間意識です。歓送会の最後に、たくさんのお客さん達をIIN会員でお見送りしながら、やった〜、おわった〜、と自分の周りのIINの皆さんとハグしたくなりました。この行事全てを通じて特筆すべき大車輪の御活躍は、実行隊長のSさん。衆目の一致するところでしょう。勿論、彼女には、私のような失敗は何一つございませんでしたよ。隊長に敬礼！



皆さんの帰国後、個々にメールのやり取りが頻繁に有った事でしょう。ここでそのいくつかをご紹介します。

●Hi Beverly

Werner and I are finally home after a fantastic time in Japan. After the week in Ibaraki, we went to Kanazawa to see the yukitsuri in Kenrokuen then back for a few more days in Kyoto. Must say, the week in Ibaraki was the highlight! Wow! What a farewell party! Loved your singing!

I am going through my photos and found the kimono ones, so am sending them on to you. Now I can see why kimonos have withstood the ages. They are gorgeous and complimentary! Good luck during your remaining time in Japan. Mary

●Y 様、

ご丁寧ありがとうございます。一昨日ミネアポリスに戻ってまいりました。東京出張後、両親を訪ね数日実家で過ごしました。

茨木では皆様に本当にいろいろとお世話になりました。様々な素晴らしい体験と皆様との交流を楽しませていただきました。

いつもながら、茨木市の皆様の心温まる、またご丁寧な歓待に感謝の言葉もございません。

市議、そして私の同僚も非常に喜んでおりました。改めて御礼申し上げます。京都では紅葉とともに日本の伝統を再度確認し、また新たに皆様のツアーからいろいろなことを学ばせていただきました。

また皆様にお目にかかる日を心から楽しみにいたしております。添付のグループ写真は雨の京都での楽しい思い出の一つです。お恥ずかしいお知らせですが、最近遅咲きのブログデビューをしました。(ミネアポリスのブログもやっていますが。)ご笑覧ください。

<http://huskyjazz.blogspot.com/>

<http://cityofthewater.blog.mo-hawaii.com/> (ミネアポリスの情報ブログ)

時節柄お身体ご自愛ください。 M 拝



●Dear Michiko,

I would like to once again thank you and the members of IIN for a wonderful trip and experience to Ibaraki City. The beauty of the fall season was amazing. The kindness and generosity of you and the people of Ibaraki will remain in my heart for ever. I was able to meet many friends and make many more during my visit.

I hope to see you again. Kind regards, Douglas Spurgeon

●Nakamura san,

Thank you, I had a wonderful time and the next time I visit I hope to stay much longer.

I have talked to the people at MCAD and to Arthur. The dates for the English study group should be fine for staying at MCAD. However the MCAD dorms are only available from mid May to Mid August, so they would not be available for other study groups coming at other times of the year. I will check to see if there are other accommodations at low rates in the area.

We will be having a board meeting next month to plan for next year. I will let you know how things go.

Thank you, Karl Reinhard



全てが終わって、海外旅行に出かけた会員さん、延ばしてもらった法事に出かけた会員さん、しばらく籠りますとドロシした会員さん。それぞれのお忙しさの中で、それぞれのバランスを取りながら、日常生活に戻っていただけることと思います。今回の30年記念行事をただの思い出にしまってはもったいないので、我々のこのパワーを次なる何かに役立てたいものですね。キーワードは「国際交流」「英語」「ボランティア」。御意見募集中です！

こぼれっぱなしの番外編もそろそろお開きに致しましょう。

See you soon!